

令和5年度 シラバス

教科	英語	科目	応用英語	単位数	2	履修学年	3	学科・コース	選択クラス																				
教科書	なし		副教材等	英文法・語法 Vintage、英語長文を読むためのパラグラフ・リーディング、他			担当者	白鳥 宏之																					
1. 科目の目標			2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																							
<p>1. 大学英語入試長文、共通テスト問題を読解する力を養成します。</p> <p>2. 語彙力・構文・文法の知識を身につけ、英作文力を養成します。</p>			<p>1. 家庭学習、特に復習を心がけましょう。</p> <p>2. レベルの高い英語を正確に読む力、様々な話題に関する英文を読む力を身につけるために、向上心を持って、自立した英語学習者を目指しましょう。</p> <p>3. 定期考査に加え、普段の授業への取り組みや提出物などを総合的に評価しますので、日々の授業を大切にして学習を進めましょう。</p>			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>知識・技能</td> <td>思考・判断 ・表現</td> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>傾聴力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>思考力</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>先見力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>					知識・技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に取り組む態度	傾聴力	○		○	思考力		○		協働力		○	○	先見力	○		○
	知識・技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に取り組む態度																										
傾聴力	○		○																										
思考力		○																											
協働力		○	○																										
先見力	○		○																										

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	・時世、助動詞、英文読解、英作文	4	・文法、慣用句の理解し、各々の言語材料を適切に使用することができる。	・各文法、慣用句を用いて、相手の意思・考えを理解することができ、自分の意思・考えを相手に理解させることができる。	・教材に対し意欲的に取り組もうとしている。 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組み、協働して「解」を見つけ出そうとしている。			
5	・仮定法、態、不定詞、動名詞、分詞、英文読解、英作文	6						
6	・前置詞、接続詞、関係詞、疑問比較、英文読解、英作文	7						
7	・否定、倒置、省略、代用、強調、主語と動詞の呼応、英文読解、英作文	5						
8	・動詞の語法、英文読解、英作文	4				【評価方法】	【評価方法】	
9	・名詞、代名詞、数量表現、英文読解、英作文	5				・定期考査（前期中間、前期末）	・授業中のパフォーマンス評価	・授業中のパフォーマンス評価
10	・形容詞、副詞、多義語、重要語句、動詞の熟語、英文読解、英作文	8				・文法、慣用句の理解し、各々の言語材料を適切に使用することができる。	・各文法、慣用句を用いて、相手の意思・考えを理解することができ、自分の意思・考えを相手に理解させることができる。	・教材に対し意欲的に取り組もうとしている。 ・ペアワーク、グループワークに積極的に取り組み、協働して「解」を見つけ出そうとしている。
11	・共通テスト試験対策、大学個別試験対策	6	【評価方法】	【評価方法】				
12	・共通テスト試験対策、大学個別試験対策	4	・定期考査（後期中間）	・授業中のパフォーマンス評価	・授業中のパフォーマンス評価			
合計								

評価規準は学習指導要領を参考に「知識・技能」、「思考・判断・表現」は「〇〇できる」、「主体的に学習に取り組む態度」は「〇〇しようとしている」などの表現に書き換える。

2、3学年は4観点で表記されているものを3観点到アレンジする。